

- ・2024病院まつり
えがおの架け橋～これまでも、これから～25年分の感謝をこめて
- ・診療科紹介／外科
- ・認定看護師紹介／がん化学療法看護認定看護師
- ・医療安全管理室のおしごと
- ・たんぽぽ保育所うんどうかい
- ・～市立病院からのお知らせ～
「糖尿病教室」・「ふれあい講座」・「出前講座」

『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。

2024 病院まつり

えがおの架け橋
～これまでも、これから～
25年分の感謝をこめて



10月20日（日）「2024 病院まつり」を開催しました。当日は、多くのみなさまにご来場、ご協力いただきました。ありがとうございました。

和
誠意
奉仕

- 1)大田二次医療圏の中核病院として、5疾病6事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2)病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3)地域での必要度の高い疾病に対し、保険・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4)訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5)医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6)職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

医療安全管理室



医療安全管理室は、医師、看護師、薬剤師、事務職員の5名が配置されており、患者さんとご家族はもちろん、職員を含めた院内全ての方の安全を守り、安全な医療を提供することを目的に日々活動しています。そして、医療安全管理室と

現場職員を繋ぐ役割を担うために、各部署にリスクマネージャーが配置されています。

医療現場では、専門性の高い治療や技術が求められるため、ミスが発生しないよう機器やシステムで対策を立てながら患者さんに安全な医療を提供しています。しかし、現場では「ヒヤッとした、ハッとした」場面に遭遇することがあります。同じことを起こさないために職員はレポートを作成し、発生状況や要因などを職員間で共有し対策を立て継続的に取り組んでいます。また、職員の医療安全に関する知識や意識を向上させるために研修会を年2回実施し、全職員が参加をしています。その他にも、業務の中でルールが守られているか、患者さんのベッド周囲や職員の働く環境が整っているかなど定期的に現場に出向き確認をしています。安全な医療を提供するためには、患者さんの参加も重要であると言われています。例えば、患者誤認を防止するために「患者さんにお名前をご自分で名乗っていただく」こともその1つです。これからも患者さん、ご家族に協力を得ながら、職員と共に安心できる安全な医療の提供を目指し活動していきます。

たんぽぽ保育所
うんどうかい
2024. 10. 13



大田小学校体育館で運動会を開催しました。年長さんを中心に、体操・クラスごとの運動競技や親子競技を最後まで頑張ることができました。園児による「きらきらメラメラ Let'sダンス★」では、元気いっぱいダンスを披露しました。踊りきった後の園児の顔は、かっこよくキラキラ笑顔いっぱいでした！

～市立病院からのお知らせ～

どなたでもご参加いただけますので、ふるってご参加ください！

「糖尿病教室」

第3回糖尿病教室を開催します。
日 時：令和6年12月11日（水）
14時～15時
場 所：ココカラファイン薬局
2階会議室（敷地内薬局）
内 容：内科医師、臨床検査技師
によるおはなし
血圧・血糖測定 など
参加費：無料

「ふれあい講座」

健康に関する知識や情報を提供し、疾病予防、健康維持に役立てていただくため、「ふれあい講座」を開催しています。
令和6年度は、在宅医療に関する内容で、12月からは「ACP 人生会議について」を看護師がお話します。
日程は、決定次第お知らせいたします。

「出前講座」

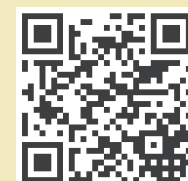
地域のみなさまに健康や医療について関心を持っていただくとともに、当院の医療機能などについて理解を深めていただくため、市内小、中学校や地域の集会所、高齢者施設等にでかけています。今年度の受講の申し込みは令和7年2月末までです。
※申込対象は、原則10名以上の参加が見込める団体、グループになります。



詳しくはホームページをご覧ください。



大田市立病院HP



facebook

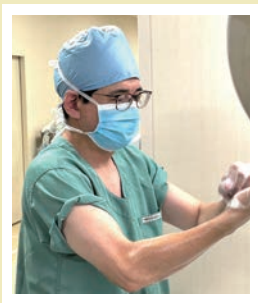


発行：

大田市立病院
広報委員会

〒694-0063
島根県大田市大田町吉永1428-3
TEL：0854-82-0330 FAX：0854-84-7749

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。



山口 峰一
大田総合医育成センター
外科系教授／外科部長

当院の外科では一般外科（傷の処置、脱腸、虫垂炎、痔など）から消化器外科全般（胃、腸、肝臓、胆嚢など）や、乳腺外科など幅広く診療を行っています。一般的に「手術」と聞くと「怖い」と不安に思われるかもしれませんが、が、麻酔科をはじめとするスタッフの協力を得ながら、安全で確実かつ皆様に満足していただける医療を提供できるように努めています。今回は当科で扱うこれらの疾患の中から代表的なものを紹介します。

『胆石症・胆嚢炎』

たんのう

胆石を持っている人すべてに症状が出るわけではありません。一部の人が胆石による症状、すなわち食後にみぞおちから右上腹部の痛みを訴えることがあります。それは食事の刺激により石が胆嚢の中で動くことで痛みの症状が出ます。

また、場合によっては、細菌感染を起こし「胆嚢炎」を起こすことで症状が出ます。胆嚢炎では、右上腹部痛に加え発熱も出現し全身状態が悪化していきます。

胆嚢炎とまでいかなくとも、症状が出現した場合は、原則として治療の対象になります。当院では、腹腔鏡下胆嚢摘出術を選択し治療しています。腹腔鏡手術は、腹部に小さな傷を数箇所開け、そこに医療用のカメラを挿入し画面で見ながら手術を行います。従来よりも傷が小さく、術後の回復や退院も早くなります。

『鼠径ヘルニア』

そけい

鼠径ヘルニア（脱腸）とは、足の付け根の辺り（鼠径部）で筋膜が薄くなっている部分から、腸などの内臓が腹腔外に飛び出してしまった状態です。患者さんの約9割が男性で、50歳代以上の方が特に多いといわれています。

鼠径ヘルニアの基本的な治療は手術です。腸などが脱出してしまいう穴（筋肉の隙間）を、人工のメッシュ（網）などでふさぐ手術をします。当院では、鼠径近くの皮膚を切開する「鼠径部切開法」と

お腹の中から修復する「腹腔鏡下手術法」を行っており、患者さんに応じた適切な手術法を相談しながら決めていきます。

『胃癌・大腸癌』

大腸癌にかかる方は増加傾向にあり、癌による死亡率でも胃癌を抜いて第2位です。（第1位は肺癌、第3位は胃癌）。近年ではこれらの癌に対しても積極的に腹腔鏡下手術を行っており、患者さんに負担の少ない治療を行っています。

また手術だけではなく、それぞれの診療ガイドライン（科学的根拠に基づいて、最良と考えられる検査や治療法を提示する指針）に従って、手術後に再発を予防する補助化学療法や、再発した場合でも患者さんに最適と思われる治療法をご相談しながら行っています。

『乳癌』

日本人女性では乳癌にかかる人の数は増加しており、特に40歳代から乳癌と診断される割合が高くなります。そのため、40歳を過ぎたら自覚症状がない女性でも、2年に1回は乳癌健診を受けることが推奨されています。

当院では島根大学医学部附属病院乳腺センターの角舎学行医師による専門外来を行っています。放射線治療などを除いて、手術、薬物療法を含めた専門的治療を受けることができます。

【乳腺外来】

毎週月曜日／角舎学行医師

【外科医師】

- ◆ 診察日 山口 峰一
月・水・金曜日
- ◆ 診察日 玉木 加歩
水・木曜日
- ◆ 診察日 三浦 法理人
火・金曜日



ぎんざんテレビ「銀の風」大田市立病院からのお知らせ」で、山口医師が外科をわかりやすく紹介します。

【放映日】

11月25日（月）
午後5時～※以降再放送あり

Q1 普段はどんな仕事をしていますか？

急性期病棟で交代制で勤務しています。がん化学療法看護認定看護師としては、毎週水曜日に化学療法室で治療に来院される外来患者さんが、がん治療を受けながら自分らしく過ごせるよう副作用に対する指導や生活のヒントなどをお伝えさせていただきます。

また、がん患者さんの対応をする看護師の薬剤投与管理についての相談を受けたり、患者さんのカンファレンスを行ったりしています。

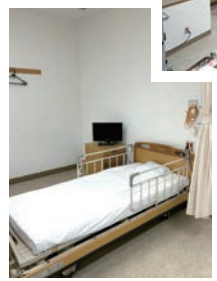
Q2 化学療法室はどんなところですか？

化学療法室は、リクライニングシート3台、ベッド3台、人工肛門対応のトイレが設置されています。ベッドにはテレビが備え付けられてあり、患者さんは治療を受けながらテレビ鑑賞ができるほか、持参された物を飲食することもできます。それぞれのスペースは、カーテンで仕切られており、プライバシーにも配慮しています。また、付き添いで来院されたご家族の待合スペースもあります。

医師の指示により薬局で調合された抗がん薬が届けられると看護師が投与します。



増本 和子 主任看護師
(がん化学療法看護認定看護師)
(写真右)



Q3 がん化学療法看護認定看護師になろうと思ったのはなぜですか？

「科学的根拠に基づいた看護がしたい」、「がん看護を追求したい」と思っていたときに、当時の上司にがん化学療法看護認定看護師をすめられたのがきっかけです。

Q4 がん化学療法看護認定看護師として、患者さんやご家族に伝えたいことは？

日本人の2人に1人ががんになると言われている時代ですが、がんになると本人だけでなくご家族も大きな衝撃を受けます。がんの告知から治療の選択、療養先など多岐にわたる様々な選択を迫られ、心が折れることがあるかもしれません。インターネットにはたくさん情報が出てきますが全部を鵜呑みにはせず、ご家族、ご友人、そして医療者に思いを吐き出してください。そして、周囲の方々はただ寄り添ってあげてください。患者さんと思いを共有しながら「チーム」で関わっていきたいと思いますので、何でもお話しください。

ちょんぼし
紹介
看護師ならではの「くせ」は？

患者さんやご家族が発する言葉の裏にある想いを探ろうとし、ぐいぐい心の中をのぞこうとしてしまいうのがくせです。



※がん化学療法看護認定看護師とは：ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者で、公益社団法人日本看護協会の認定を受けた看護師のうち、抗がん剤治療を受ける患者さんが安心して治療を受けられるように、抗がん剤治療で生じる様々な副作用症状の対処方法をお伝えするなど患者さんとご家族を支援する看護師のことです。